

# KEYAK!

7月号

先月の給食参観への参加ならびにご協力ありがとうございました。幼稚園でお母さんお父さんと一緒に食べる給食は格別だったことでしょう。また、参観でも給食でもお子様の家庭とは違った側面が見えたなら、親子双方にとってプラスだったのではないのでしょうか。

さて普段の話、朝の会や帰りの会の前には年長児を始めとして、園庭のパトロールで子どもたちが声かけや片付けを行います。その中で、帰りの会前は合っているのですが朝の会前でも「もうおかえりですよ〜っ。」と声を大にしておふれを出している子がけっこういます。

「おかえりですよ」は「みなさんおあつまりの時間が近づいてきたので外遊びはもう終わりにして自分の遊んだものの片付けを始めてとっととクラスに戻ってください」の意味です。

「おかえりじゃないよ、おあつまりだよ・・・。」とブツブツ言っている子も中にはいますが、子どもたち同士は暗黙の了解ともいえるべき理解をしています（先生たちも!?!）。言葉上では間違っているかもしれませんが、その子のわかってきたからこそその言いたい気持ちや正義感みたいな純粋な部分はとってもよく伝わります。何より子どもたちが「自主的」に行動を起こしていることが素敵で素晴らしいことに思えます。言葉じりを指摘したり訂正させたりするよりも、それを上回る良い部分を認めてあげるほうが重要だと考えます。

間違えている(?)部分を直さなくていいとは言いませんが、子どもの今でこそ、今だからこそその姿であっていいと思っています。少し以前の左利き、鏡文字、言い間違いや思い込みなど、矯正や強制でなく、だんだんそうなる、自然に身につく、ような大人のかかわりや働きかけが、やがて 気付く、知る、考える、直す、選ぶ、決めるなどこれから伸びていく自主性を獲得していく上で大切だと思っています。

ではそのかかわりや働きかけって一体・・・具体例のひとつも挙げてないんじゃないですかっ！  
そーすね

## 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 自分で「やってみたい」という気持ちを持って、身の回りの始末など、自発的に取り組もうとする
- ・ 「入れて」「いいよ」などのやりとりの中で、友達と遊ぶ楽しさを知る
- ・ 水遊びやプールあそびを通して、開放感を味わう

4歳

- ・ 経験したことをイメージし、ごっこ遊びに取り入れようとする
- ・ 保育者や友達と一緒にいろいろな水遊びを楽しみ、開放感を味わう
- ・ みんなで使うものを大切に扱い、自分でできることをやってみようとする

5歳

- ・ 工夫して必要なものを作ったり、様々な表現を楽しむ
- ・ 友達の思いや自分とは違う意見があることに気づき、受け入れたり、遊びや活動の中に取り入れたりしようとする
- ・ グループごとに協力し、助け合い、励まし合って行動できる
- ・ テーマに沿って意見が言えたり、自分たちで1つの納得できる結論をだせる